

エコツーリズム大賞

ECOTOURISM AWARD 2014

募集

第10回



受賞者の言葉

第9回エコツーリズム大賞受賞

はり えしょう す さと い いん かい

「針江生水の郷委員会(滋賀県)」

琵琶湖の北西に位置する静かな里山針江。太古の昔より比良山系から琵琶湖に流れる伏流水を今なお各家庭に取り込み、「かばた」で水(湧き出た水を生水という)を飲料や炊事に利用し日常生活をしています。「かばた」は、理に適ったエコなシステムで日本でも珍しい水の文化です。水路で人々が繋がり、絆として信頼関係を築いています。かばたの水は琵琶湖へと流れ、生水のお陰で絶滅危惧種の生物も多く生息しています。美しい原風景・文化を知って頂くと共に素朴な地域の人とのふれあいを体験するツアーを10年前から続けて開催しています。光栄にもエコツーリズム大賞を頂き、「ほっこり」と故郷のような体感を味わって頂く事を心がけ、ますます人との繋がりを大切にしたいと思っております。自然をこよなく愛する団体の皆様、是非エコツーリズム大賞にふるってご応募下さい。



エコツーリズムとは

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたです。

主催 環境省



NPO法人
日本エコツーリズム協会



第10回 エコツーリズム大賞 募集要項

エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上及び、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的としています。

応募対象 エコツーリズムに継続的に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。
(例：ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)

応募資格 (1) 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
(2) 自薦、他薦の別を問いません。
(3) 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

審査方法 次に定める審査基準により、別に設ける「エコツーリズム大賞審査委員会」が、以下の賞について審査を行います。

- 『**エコツーリズム大賞**』
総合的に優れた取組に対して1件。
- 『**エコツーリズム優秀賞**』
エコツーリズム大賞に準じて総合的に優れている若しくはリーディング的な取組に対して数件。
- 『**エコツーリズム特別賞**』
特定分野での革新的・先進的な奨励すべき取組に対して数件。

応募方法 (1) 提出書類
応募用紙に所定の事項を記入し、パンフレット、写真などの参考資料を添えてメール送付(エクセル、ワード等)あるいは郵送、持参により提出してください。
応募用紙(エクセル)は、ホームページ(<http://www.ecotourism.gr.jp/index.php/events/award/>)からもダウンロードできます。 **オススメ**

(2) 取組分野
下記の取組分野のうち、A～Cは必ず記入し応募してください(Dはあてはまる場合のみ記入)。

エコツーリズムの取組分野 (評価の対象となる取組)	
A ガイダンス(解説)の手法 地域の体験又は情報が良質に提供されているか	<ul style="list-style-type: none"> ● エンターティメント(楽しさ)やホスピタリティ(おもてなし)の工夫 ● 地域の自然や文化歴史を正しく理解し、利用者に分かりやすく提供 ● エコツアーにおける安全管理手法の確立 など
B 環境保全の取組 地域資源の保全と持続的利用に向けた取組がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全へのルール作成、調査研究活動及び持続的なモニタリングの実施、順応的な管理の実践 ● 環境保全への収益還元システムの確立 ● 自然再生の為に体験活動など自然生態系の保全を重視したエコツアーの実施 ● 環境に配慮した宿泊施設や交通機関の運営(環境負荷の軽減) など
C 地域活性化の取組 地域の振興や活性化に貢献しているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林水産業等の地場産業体験や地産地消などの取組と連携したエコツアーの実践 ● 地域への収益還元や地元雇用など地域振興に結びつける仕組みづくり ● 地域が主体となる仕組みづくりや、地域の自信や誇りづくり など
D その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● エコツーリズムの担い手育成(地域のエコツーリズムの定着・理解促進を先導) ● 教育機関等との連携(子どもグループも対象) ● エコツーリズム発展の為に推進団体の設立・運営(持続的かつ計画性をもった取組) ● 外国人旅行者の受入体制づくり(インバウンド対策) など



※エコツーリズムの取組分野の事例については、「エコツーリズム基本方針」も参考にして下さい。
(参考)環境省 HP http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/basic_policy.html

(3) 提出期限 **平成 26 年 11 月 14 日(金)必着**
(4) 提出先及びお問い合わせ先
NPO 法人 日本エコツーリズム協会 エコツーリズム大賞審査委員会事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル 3F
TEL 03-5437-3088 **FAX** 03-5437-3081 **e-mail** ecojapan@alles.or.jp
※応募資料(提出物)は、原則として返却しません。

第10回 エコツーリズム大賞 応募用紙

審査対象名（個人、団体又は事業者などの名前）		整理番号（記入不要）
ふりがな		
代表者名（団体、事業者などの場合のみ）	担当者名	設立年
ふりがな	ふりがな	年（西暦）
所在地	実施地域（複数ある場合、主たる地域に○をつけてください。）	
ふりがな	ふりがな	
〒		
TEL	FAX	e-mail
ホームページアドレス		
http://		
審査対象主体 下記の該当類型に○をつけてください。		
1. ツアー事業者 2. 宿泊事業者 3. 交通事業者 4. 協議会 5. 地方公共団体 6. その他（ ）		
主な活動地域区分 下記の該当類型に○をつけてください。		
1. 自然豊かな場所 2. 観光客が多く訪れる場所 3. 里地里山 4. 都市近郊 5. その他（ ）		
年間のツアー催行数	年間のツアー参加人数	保険加入の有無（有の場合、種類に○）
2011年度 回	2011年度 人	有（傷害保険・賠償保険） ・ 無
2012年度 回	2012年度 人	
2013年度 回	2013年度 人	
応募主体	1. 自薦 2. 他薦：他薦の場合は下記の項目にもご記入ください。	
推薦者氏名	所属組織名	
ふりがな	ふりがな	
住所		
ふりがな		
〒		
TEL	FAX	e-mail
添付資料（活動写真、パンフレット、地図、メディア掲載、その他参考資料）の名称及び品名等 ※活動写真は計5枚程度（データの場合は計5MB以内）とし、他の添付資料につきましても5点以内としてください。 ※応募資料（提出物）は、原則として返却しません。		
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
情報公開に対する事前承認	承認の可否	
応募に関する情報について、環境省及びNPO法人日本エコツーリズム協会がホームページ、パンフレット等に掲載し、公開して使用することにあらかじめ承認いただけますか。	はい ・ いいえ	

裏面もご記入ください

I. 応募内容の主たるポイントを、200文字程度で、簡潔に説明してください。

100

200

II. 取組分野毎に、500文字以内で、内容を説明してください。

A. ガイダンス（解説）の手法 B. 環境保全の取組 C. 地域活性化の取組 D. その他の取組

※A～Cは必須で、Dはあてはまる場合のみ記入してください。

※この用紙1枚に書ききれない場合は、分野ごとに用紙を分けて、それぞれ500文字以内で記入してください。

※応募用紙(エクセル)は、ホームページ(<http://www.ecotourism.gr.jp/index.php/events/award/>)からもダウンロードできます(推奨)。

100

200

300

400

500